

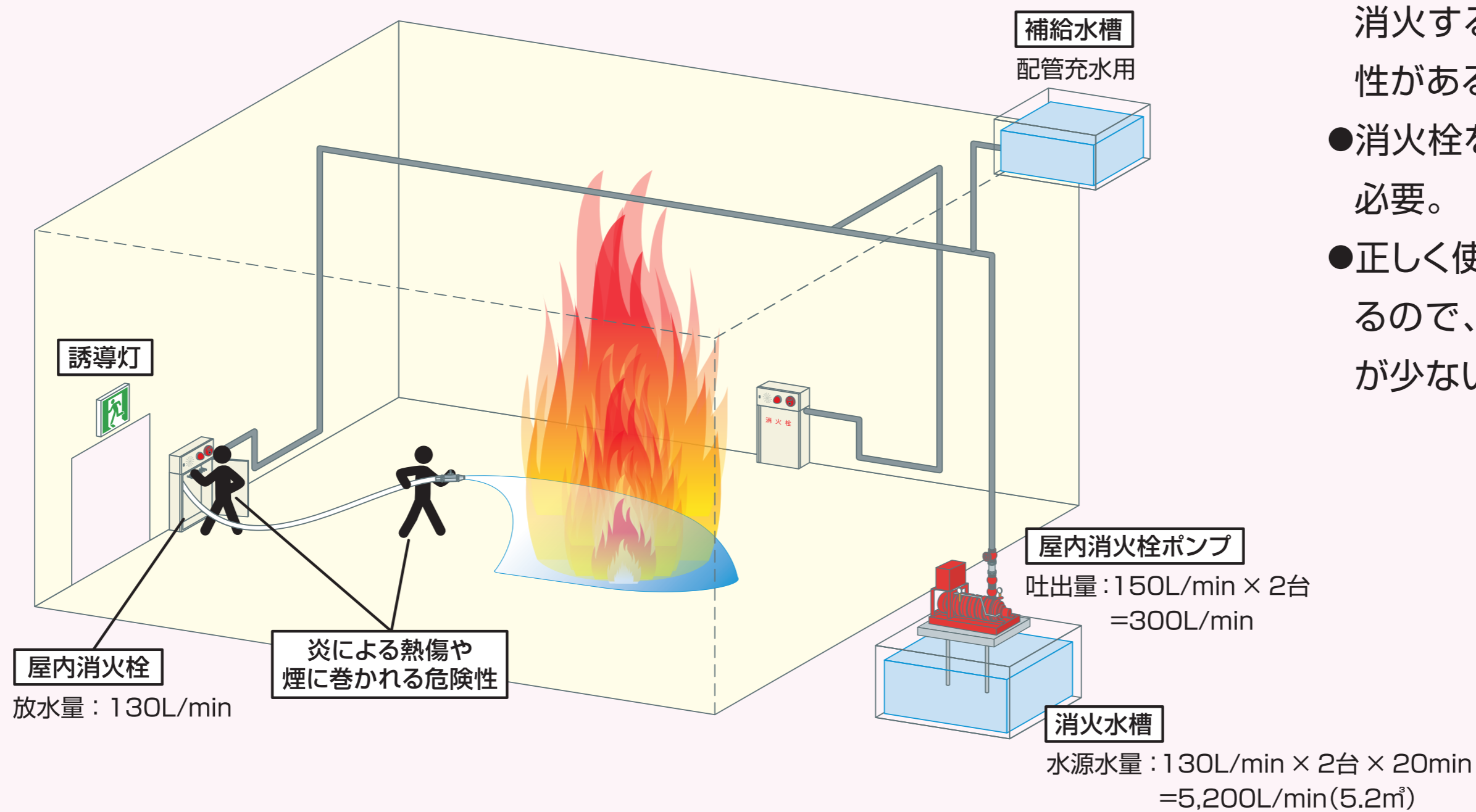


消火栓の有効活用

効率的な初期消火で被害を最小限に。

消火栓に放水型スプリンクラーヘッドを付加設置することで
より安心・安全な設備になります。

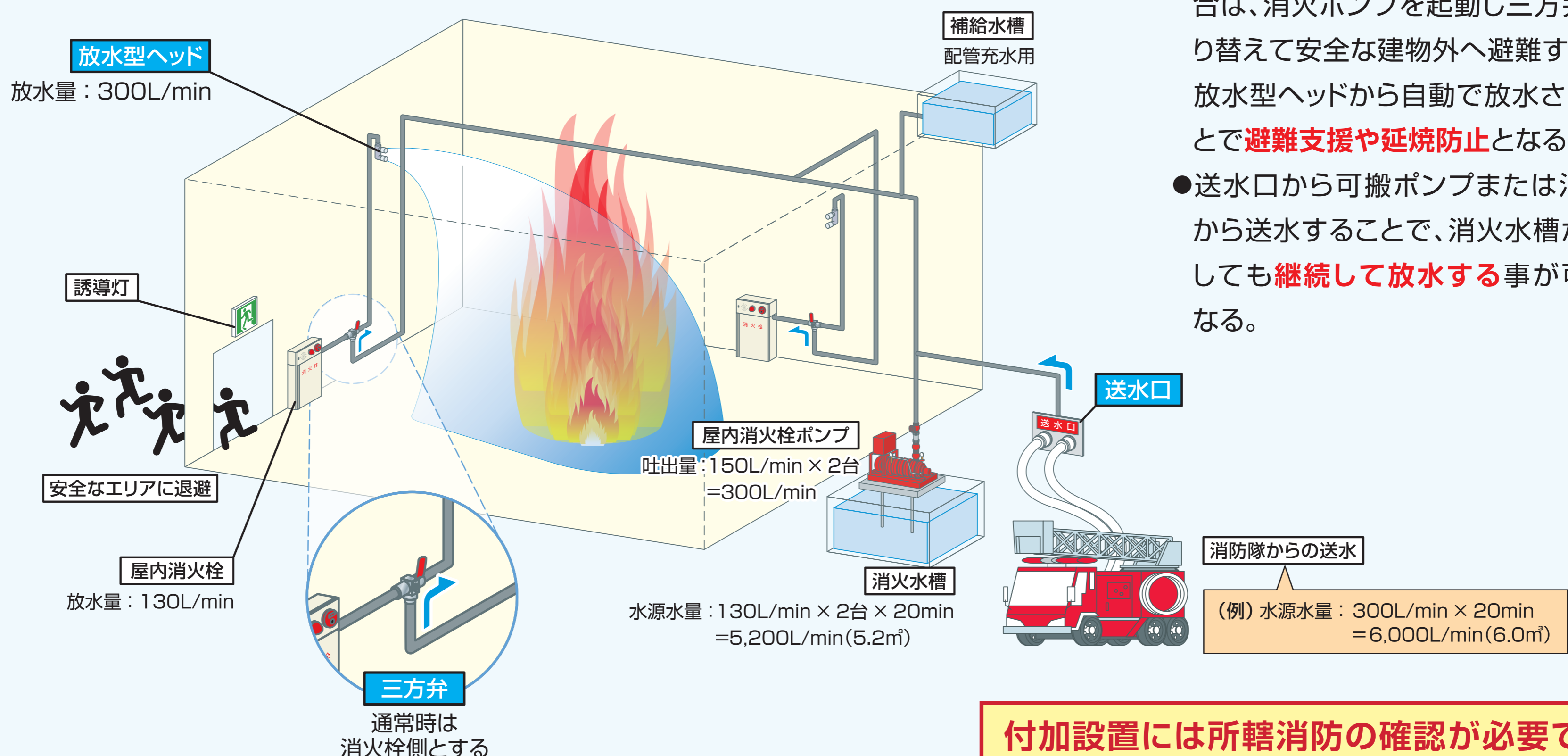
消火栓のみ(法令設置の場合)



- 火災時は人が火点に接近し放水して消火するため、炎や煙に巻かれる危険性がある。
- 消火栓を開く人と放水する人の2名が必要。
- 正しく使用するには知識や技術を要するので、緊急時に有効に使われることが少ない。

ヤマトプロテックからの新提案!!

消火栓+放水型SPヘッド(付加設置の場合)



- 火災時に消火栓での消火を諦める場合は、消火ポンプを起動し三方弁を切り替えて安全な建物外へ避難する。放水型ヘッドから自動で放水されることで**避難支援や延焼防止**となる。
- 送水口から可搬ポンプまたは消防隊から送水することで、消火水槽が枯渇しても**継続して放水する**事が可能となる。

付加設置には所轄消防の確認が必要です